

様式第1号(第3条関係)

耐震化促進事業補助金交付申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

明 石 市 長 様

郵便番号も忘れずに記入して下さい。

(〒673-8686)

所 明石市中崎1-5-1

受付窓口へ提出する日付を記入して下さい。

氏 名 明 石 太 郎

明石市住宅耐震化促進事業の(住宅耐震改修工事費補助)を下記のとおり実施したいので、補助金 1,300,000 円を交付願いたく明石市住宅耐震化促進事業補助金交付要綱第3条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 工事等の内容及び経費区分(別記収支予算書)

2. 工事等の着手予定年月日 平成〇〇年□□月□□日

工事等の完了予定年月日 平成〇〇年△△月△△日

施工者との契約予定日を記入して下さい。

工事代金の支払予定日を記入して下さい。

3. 添付書類

(1) 耐震改修工事住宅概要書(様式第耐震1-2号)

(2) 補助金額算定・精算書(様式第耐震2号)

(3) 住宅の所有者及び建築年が確認できる書類

(4) 耐震診断報告書(様式第耐震3号)

(5) 所得証明書(写し)

(6) 住宅耐震改修に係る図書

(7) 改修工事に係る建築確認済証の写し(改修工事(増改築含む)に建築確認が必要な場合のみ)

(8) 改修工事を実施する事業者の住宅改修業者登録制度による登録証の写し

(9) 耐震改修工事实績公表同意書(様式第耐震5-1号)

(10) 委任状(代理人が申請手続きを行う場合)

※ 住宅耐震改修計画策定費補助の実績報告書と同時に提出する場合、(3)、(4)及び(6)の書類は当該実績報告書をもって代えることができる。

別 記

収 支 予 算 書

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	1,300,000円	住宅耐震改修工事費補助
自己資金	1,900,000円	
計	3,200,000円	

収入及び支出の合計欄と耐震改修工事費は、補助対象工事費をご記入下さい。

2 支出の部

科目	予算額	摘要
耐震改修工事費	3,200,000円	全体見積額 3,400,000円
計	3,200,000円	

(注)収支の計はそれぞれ一致する。

耐震改修工事住宅概要書(個表)

(住宅耐震改修工事費補助)

住宅の名称	明石太郎	
住宅の所在地(地番)	明石市中崎1丁目5番1号	1 住所と同一 2 住所と別
住宅の所有者	氏名	明石太郎
	住所	明石市中崎1-5-1 Tel 078-912-1111
工事監理者 又は施工者	事務所等名	(株)西明石建築設計事務所
	担当者氏名	建築 一郎 Tel 078-000-0000
建築確認年月日	昭和53年 4月 5日 第 1234号 ・ 不明	
検査済証	昭和54年 3月29日 第 6789号 ・ 不明	
建築年月	昭和54年 3月頃竣工	
形態種別	1 戸建住宅 2 共同住宅 棟数 1棟、戸数 1戸(うち補助対象戸数 1 戸)	
規模 改修前:上段()書き 改修後:下段	地上 (2) 階 地下 (-) 階 塔屋 (-)	店舗併用住宅 の場合のみご記 入下さい。
	建築面積 (81.15) m ² 延べ面積 (110.00) m ² 81.15 110.00	
店舗等併用住宅 の場合の規模	店舗等の用に 供する部分の 床面積 45.00m ²	延べ面積に対する 店舗等の用に供する部 分の床面積の割合 40.9%
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他()	
備考		

添付書類

店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表(店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの)

補助金 算定・精算 書

工事費補助の交付申請に添付する場合は、“算定”を○で囲み、“精算”を二重線で消して下さい。

所在地 明石市二見町東二見〇〇
 会社名 (株)ABC工務店
 代表者名 二見次郎

下記のとおり **見積り** ・ 精算 致します。

(住宅耐震改修計画策定費補助、**住宅耐震改修工事費補助**)

住宅の所有者	明石太郎		
住宅の所在地	明石市中崎1丁目5番1号		
住宅の建て方 ^{※1}	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> 共同住宅		
(共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸	
	うち補助対象戸数(b) ^{※2}	戸	
総工事費 (c)=(a)+(b)	3,400,000円		
補助対象工事費 (a)	3,200,000円		
その他工事費 (b)	200,000円		
補助金額 ^{※3} (f)	1,300,000円		

- ※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けてください。
- ※2 所得が12,000千円(給与収入のみの者にあつては給与収入が14,421,053円)以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 住宅耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。(住宅耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要)
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記してください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額				
戸建住宅	耐震改修工事に要する額	50万円以上 100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上
	補助額(定額)	50万円	80万円	110万円	130万円
共同住宅	(耐震改修工事に要する額(上限80万円/戸))×1/2(千円未満の端数切捨て)				

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

耐震改修工事費内訳書(例)

I.直接工事費 内訳書

名 称	数量	単位	金 額	備 考
A.補助対象工事				
直接工事費	1	式	〇〇〇	
共通費・諸経費	1	式	〇〇〇	
消費税			〇〇〇	
合計(a)			3,200,000	
B.補助対象外工事				
直接工事費	1	式	〇〇〇	
共通費・諸経費	1	式	〇〇〇	
消費税			〇〇〇	
合計(b)			200,000	
総計(c)=(a)+(b)			3,400,000	
A.補助対象工事費				
A-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式	〇〇〇	
(2)耐震補強工事1	1	式	193,000	
(3)耐震補強工事2	1	式	〇〇〇	
(4)屋根工事	1	式	847,800	
()…	1	式		
()…	1	式		
()…	1	式		
()…	1	式		
A-2 共通費・諸経費	1	式	〇〇〇	
A-3 消費税			〇〇〇	
A 合計			3,200,000	

(第 1面 / 面)

A.補助対象工事費 内訳明細書

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(1)直接仮設工事						
墨出し		1	式		〇〇	30㎡程度
足場	脚立	1	式		〇〇	
養生		1	式		〇〇	
片付・清掃		1	式		〇〇	
	計				〇〇	
(2)耐震補強工事1						
	和室1(半間)					2.2㎡程度
既存壁下地撤去	処分共	1	箇所	18,000	18,000	
既存壁仕上撤去	処分共	1	箇所	15,000	15,000	
壁耐震ホート貼	T=12.5 〇〇仕様	1	箇所	70,000	70,000	
壁木下地	横棧 30×90	1	箇所	30,000	30,000	
補強金物	柱頭・柱脚コーナー	1	箇所	40,000	40,000	
壁加工貼	下地処理共	1	箇所	20,000	20,000	
	計				193,000	
(4)屋根工事						
屋根ふき替え工事	〇〇仕様	50.5	㎡	12,000	606,000	既設撤去処分共
樋取替え工事	横樋 金物共	80.6	m	3,000	241,800	"
	計				847,800	
()						

計						

(第 2面 / 面)

補助金交付申請者名を
ご記入下さい

耐 震 診 断 報 告 書

明 石 太 郎 様

耐震診断者氏名 建築 一郎

(一級)建築士 (大臣)登録第 43210 号

建築士事務所名 (株)西明石建築設計事務所

(一級)建築士事務所(兵庫県)知事登録第98765号

明石 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果については、下記のとおりです
ので報告します。

記

1 住宅の名称	明石 太郎 邸
所在地	〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号
2 耐震診断の方法	「木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における 耐震診断結果※ ¹ 評点 <u>0.57</u>	(所 見) 有効な壁の量はほぼ満足しているものの壁の配置は偏っていることから、上部構造評点が1階×方向0.57、梁間方向0.68となっており、倒壊する可能性が高い。
4 改修後における 耐震診断結果 評点 <u>1.18</u>	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方向とも1.0を上回り、耐震性能の向上を図る。 (具体的な補強方法) (1)耐震壁(筋かい45×90タキ掛け)をバランスよく追加、増設する。 (2)屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
5 備 考	

改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

【添付資料】耐震診断計算書(改修前後)

※ 1 平成12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書を省略することができます。(改修後の耐震診断計算書は省略できません。)

補助事業実績報告書 記入例(住宅耐震改修工事費補助)

耐震化工事等実績報告書

〇〇年▽▽月▽▽日

明 石 市 長 様

郵便番号も忘れずにご記入下さい。

(〒673-8686)

住 所 明石市中崎1-5-1

氏 名 明 石 太 郎

受付窓口へ提出する日付をご記入下さい。
また、事業完了日から30日以内の提出が必要です。

〇〇年××月××日付 明建安第 9876 号をもって交付決定のあった、耐震化工事等下記のとおり実施したので、明石市住宅耐震化促進事業補助金交付要綱第9条の規定により、その実績を報告します。

交付申請書に記載した日付をご記入下さい。

記

補助金交付決定通知書の右肩に記載している日付と番号をご記入ください。

1. 工事等の内容及び経費区分(別記収支決算書)
2. 工事等の着手年月日 (〇〇年□□月□□日)
〇〇年◎◎月◎◎日
工事等の完了年月日 (〇〇年△△月△△日)
〇〇年##月##日
3. 添付書類
(1) 補助金額算定・精算書(様式第耐震2号)
(2) 交付決定通知書(写し)
(3) 耐震改修工事実施確認書(様式第耐震4号)
(4) 耐震改修工事に係る請負契約書及び工事代金領収書(写し)
(5) 兵庫県住宅再建共済制度加入証書(写し)又は加入申込書
(6) 耐震改修工事実績公表内容報告書(様式第耐震5-2号)
(7) 委任状(代理人が申請手続きを行う場合)

実際の契約日(契約書の日付)、
代金支払日(領収書の日付)を
ご記入下さい。
契約日は交付決定通知の右
上の日付以降の日としてくだ
さい

(注)(1)申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。

(2)実績の着手年月日は契約日、完了年月日は費用の支払日とする。

別 記

注意!決算書です

収 支 決 算 書

1 収入の部

科目	決算額	摘要
補助金(見込額)	1,300,000円	住宅耐震改修工事費補助
自己資金	1,900,000円	
計	3,200,000円	

収入及び支出の合計欄と耐震改修工事費は、補助対象工事費をご記入下さい。

2 支出の部

科目	決算額	摘要
耐震改修工事費	3,200,000円	全体契約額 3,400,000円
計	3,200,000円	

- (注)1 収支の計はそれぞれ一致する。
2 補助金は、見込み額を記入する。

契約書・領収書の金額と同じになります。
※契約書・領収書の金額は同じである必要があります

補助金 **算定・精算** 書

所在地 明石市二見町東二見〇〇

会社名 (株)ABC 工務店

代表者名 二見次郎

工事費補助の交付申請に添付する場合は、“精算”を〇で囲み、“算定”を二重線で消して下さい。

算 致 します。

(住宅耐震改修計画策定費補助、住宅耐震改修工事費補助)

住宅の所有者	明 石 太 郎		
住宅の所在地	明石市中崎1丁目5番1号		
住宅の建て方 ^{※1}	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> 共同住宅		
(共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸	
	うち補助対象戸数(b) ^{※2}	戸	
総工事費 (c)=(a)+(b)	3,400,000円		
補助対象工事費 (a)	3,200,000円		
その他工事費 (b)	200,000円		
補助金額 ^{※3} (f)	1,300,000円		

- ※1 住宅の建て方について、契約書・領収書の金額と同じに記して下さい。
- ※2 所得が12,000千円未満の世帯で、給与収入が14,421,053円以下の県民が所有する住宅の戸数を記入して下さい。
- ※3 住宅耐震改修工事費補助の場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入して下さい(補助の場合は記入不要)
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記して下さい。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補 助 金 額				
戸 建 住 宅	耐震改修工事に要する額	50万円以上 100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上
	補助額(定額)	50万円	80万円	110万円	130万円
共 同 住 宅	(耐震改修工事に要する額(上限80万円/戸))×1/2(千円未満の端数切捨て)				

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、〇〇年××月××日付 明建安第 9876 号の交付決定通知書のとおり実施しており、当該申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、補助金交付決定通知書第6項に規定する耐震改修工事状況写真を添えて報告します。この確認書に記載の事項は事実と相違ありません。

確認者氏名 **建築 一郎**
 (一級)建築士 (大臣) 登録第 **43210** 号
 建築士事務所名 **(株)西明石建築設計事務所**
 (一級)建築士事務所(兵庫県)知事登録第**98765**号

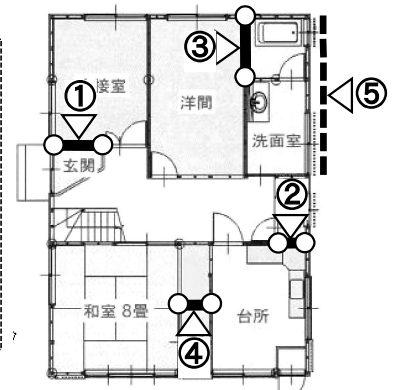
□ 耐震改修工事状況写真

1 住宅の名称	明石 太郎 邸
所在地	〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号
2 工事写真撮影箇所図※	

※ 工事写真撮影箇所図について

- (1) 右図の例にならって撮影箇所を图示してください(別紙可)。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等して適宜補強方法を付記してください。
- (3) 次頁以降の工事写真には、工事写真撮影箇所図の補強箇所番号を明示してください。

※補強内容
 ① 構造用合板による壁補強
 ② 構造用合板による壁補強
 ③ 筋交い(たすき掛け)による壁補強
 ④ 筋交い(片筋交い)、構造用合板による壁補強
 ⑤ 基礎補修(エポキシ樹脂)
 ※△は施工方向を表す
 ※○は接合部補強を行う箇所を表す



※ 工事写真について

- (1) 工事写真は次頁様式を参考に、改修前・工事中・改修後の写真を添付してください。

例)構造用合板による補強、接合部補強を行う場合の写真例
 改修前、接合部補強(柱頭左・柱頭右・柱脚左・柱脚右)、構造用合板(受材等設置、合板設置)、仕上

工事箇所 No.① 写真 No.1
工事内容(構造用合板による壁補強)

工事箇所 No.① 写真 No.2
工事内容(構造用合板による壁補強)

改修前	改修前
-----	-----

工事箇所 No.① 写真 No.3
工事内容(構造用合板による壁補強)

工事箇所 No.① 写真 No.4
工事内容(構造用合板による壁補強)

工事中	工事中
-----	-----

工事箇所 No.① 写真 No.5
工事内容(構造用合板による壁補強)

工事箇所 No.① 写真 No.6
工事内容(構造用合板による壁補強)

改修後	改修後
-----	-----

※ この用紙をコピーの上、お使いください。

(第 1 面 / 10 面)

耐震改修工事実績公表同意書

明 石 市 長 様

住宅改修業者登録 兵住改 第〇〇〇号

所在地 明石市二見町東二見〇〇

会社名 (株)ABC 工務店

代表者名 二見次郎



下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

記

1 業者について

住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先(TEL)、実施件数

2 工事内容について

住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所(市町名のみ)、補助種別、建て方、構造、築年数、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷(改修後評点-改修前評点)

耐震改修工事実績公表内容報告書

明 石 市 長 様

工事实施業者が記入 してください。

住宅改修業者登録 兵住改 第〇〇〇号

所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇

明石市二見町東二見〇〇

会社名 (株)ABC 工務店

代表者名 二見 次郎

連絡先(TEL)078-000-0000

下記のとおり、本工事の実績について、報告します。

記

ここに記載した内容及び業者情報が公表されますので、記入に当っては誤記等のないようご注意ください。

①	工事場所(市町名のみ)	明石市
②	補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 簡易耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 屋根軽量化工事費補助
③	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅
④	構造	木造
⑤	建築年月	昭和54年3月
⑥	階数	地上 2 階 地下 階
⑦	戸数	1 戸
⑧	延べ面積(m ²)	110 m ²
⑨	改修前評点	0.57
⑩	改修後評点	1.18
⑪	補助対象経費(円)	3,200,000円
⑫	工事内容	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎、柱、はり、耐力壁等の補強工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事 <input type="checkbox"/> 耐震改修以外の工事(補助対象経費に含んでいる場合のみ)
⑬	延べ面積当り評点上昇分 当り補助対象経費※	47,000円

※補助対象経費(⑪)÷延べ面積(⑧)÷(改修後評点(⑩)-改修前評点(⑨))

(様式任意)

委任状

1) 代理人が建築士の場合は、一級・二級等の別、登録番号(登録府県名等)を記載
2) 代理人が行政書士の場合は登録番号を記載

(株)西明石建築設計

(一級)建築士事務所(兵庫県)知事登録第00700号

建築 一郎

(一級)建築士 (大臣)登録第 43210 号

を代理人と定め下記権限を委任する。

記

委任状には下記の代理権限の内容や、日付、押印等、記載漏れが無い様をお願いします。

- 1) 【明石市住宅耐震化促進事業】にかかる【申請書】及び【報告書】の【作成】、【提出】、【訂正等】
- 2) 設計図書の作成(行政書士は記入不要)
- 3) 届出を行う建物の所在地

- 1 明石市住宅耐震化促進事業の申請書及び件
- 2 上記1に係る設計図書作成処理に関する

届出を行う建物の所在地: 明石市中崎1丁目5番1号

〇〇年〇〇月〇〇日

委任者(申請人)住所: 明石市中崎1-5-1

氏名: 明 石 太 郎

年月日は空欄

年 月 日

耐震化促進事業補助金交付請求書

明石市長 様

部のみご記入下さい。

住所 明石市中崎1-5-1
氏名 明石太郎
注)交付申請書と同じ印鑑を押印してください

申請書と同じ印鑑

下記のとおり、補助金を精算(概算)払いによって交付... 記

1.請求金額 金 1,300,000円也
補助金交付決定額 円(概算払い時に記入)
補助金確定額 1,300,000円(精算払い時に記入)
既受領額 円
今回請求額 1,300,000円

<根拠>

補助金交付決定通知 [] (概算払い時に記入)
補助金交付決定変更通知 [] (概算払い時に記入)
補助金確定通知 [] (精算払い時に記入)

2.振込先
金融機関名 金融機関名:
支店名:
口座の種別 普通・当座(該当を○で囲む)
口座番号
口座名義人 (フリガナ)

注)口座名義人には交付申請書と同じ名前を記入してください。